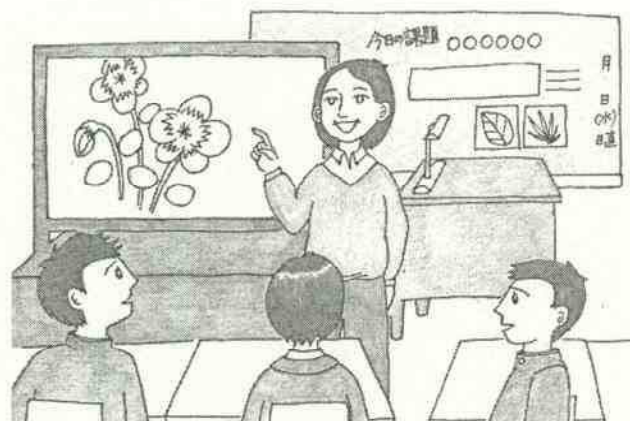


# 平成 26 年度 川崎市立小中学校 学習状況調査報告 (概要)



## ◎ 調査の概要

### 1. 調査の目的

全市的な規模で児童生徒の学習状況を調査することにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、児童の基礎学力の向上に役立てる。

### 〈小学校学習状況調査〉

#### 2. 調査の内容

○国語・算数

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

#### 3. 調査の対象

市内全市立小学校の第5学年の児童

#### 4. 調査実施日及び調査対象教科・人数

(1) 調査実施日 平成26年5月13日（火）

(2) 調査対象教科・人数 小学校第5学年

国語 11,351人 算数 11,348人 生活や学習についてのアンケート 11,351人

### 〈中学校学習状況調査〉

#### 2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

#### 3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

#### 4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日 平成26年11月11日（火）

(2) 調査対象人数

中学校第1学年 9,695人 中学校第2学年 9,279人 中学校第3学年 9,323人  
生活や学習についてのアンケート 9,249人

1. 言語・聴覚・筆一臂

話すこと・聞くこと 90.8%

書くこと 62.4%

読むこと 65.1%

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 75.6%

大問 番号	中問 番号	小問 番号	解答形式		正答 (選択式・番号、記述式・言葉)	観点			問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	正答率
			選択	記述		話す・聞く 能力	書く能力	読む能力					
1	(1)		☆		1-4(完答)	◎			①話の内容を問うこと	①話すこと・聞くこと	話の中心に集まって、発表を聞き取ることをする。	A(1)エ	95.1
2	(2)		☆		2	◎					話の中心に集まって、発表を聞き取ることをする。	A(1)エ	93.2
3	(3)		☆		1	◎			①話の内容を問うこと		話の中心に集まって、話し方の工夫を聞き取ることをする。	A(1)イ	84.2
4		①	☆		えいよう		◎				第四学配当漢字を讀むことができる。	言語(1)ウ(イ)	96.9
5	(1)	②	☆		うせつ		◎		②漢字を讀む		第四学配当漢字を讀むことができる。	言語(1)ウ(イ)	77.7
6		③	☆		まご		◎				第四学配当漢字を讀むことができる。	言語(1)ウ(イ)	96.3
7		④	☆		あらた		◎				第四学配当漢字を讀むことができる。	言語(1)ウ(イ)	67.5
8	2	①	☆		写真		◎				第三学配当漢字を書くことができる。	言語(1)ウ(イ)	87.3
9		②	☆		世界		◎		③漢字を書く		第三学配当漢字を書くことができる。	言語(1)ウ(イ)	94.1
10	(2)	③	☆		湖		◎				第三学配当漢字を書くことができる。	言語(1)ウ(イ)	79.0
11		④	☆		悲しい		◎				第三学配当漢字を書くことができる。	言語(1)ウ(イ)	73.5
12	(1)		☆		むすぶ		◎		④最終的な書文化と国語の特質に関する事項		主語・述語の関係を理解している。	言語(1)イ(カ)	57.4
13	(2)		☆		どど		◎				国語辞典を利用して調べることができる。	言語(1)イ(カ)	56.8
14	3	(3)	☆		どどになった。／ぼくは話し		◎		④言葉の字音		国語辞典を利用して調べることができる。	言語(1)イ(ク)	27.0
15	(4)		☆		3		◎				国語辞典を利用して調べることができる。	言語(1)イ(ク)	89.9
16	(1)		☆		1		◎				初級を基に、登場人物の様子や気持ちを讀むことができる。	C(1)ウ	87.0
17	(2)		☆		3		◎				初級を基に、登場人物の様子や気持ちを讀むことができる。	C(1)ア	79.4
18	4	(3)	☆		4		◎		⑤物語の内容を讀み取る		初級を基に、登場人物の気持ちや読み取ることができる。	C(1)ウ	78.5
19		(4)	☆		雷のかけら		◎				初級を基に、情景などを讀み取ることができる。	C(1)ウ	38.3
20	(5)		☆		4		◎				文章を讀んで考えたことを発表したり、他の人の考えを説明したりすることができる。	C(1)オ	79.0
21	(1)		☆		2-4(完答)		◎				目的に応じて、細かい点に注意して文章を讀むことができる。	C(1)イ	86.3
22	(2)		☆		冬		◎				目的に応じて、細かい点に注意して文章を讀むことができる。	C(1)イ	48.9
23	(3)		☆		2		◎		⑥説明文の内容を讀み取る		目的に応じて、細かい点に注意して文章を讀むことができる。	C(1)イ	56.3
24	(4)		☆		4		◎				目的に応じて、細かい点に注意して文章を讀むことができる。	C(1)イ	69.8
25	(5)		☆		以下の二つの内容(要約)のどちらかに書いている。 ①木の葉がくたくたの場所をわたる ②木の葉がくたくた		◎				目的に応じて、細かい点に注意して文章を讀むことができる。	C(1)エ	31.8
26	6	(1)	☆		①ウ ②イ ③ア (完答)		◎		⑦文章を推薦する		文章の関連性を正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。	B(1)オ	84.1
27	(2)		☆		8行以上10行以内(101字以上200字以内)で書いている		◎		⑧手紙の状づけを書く		文章と段落の続き方に注意して書くことができる。	B(2)エ	23.9
28		①	☆		3行未満で書いている		◎				目的に応じて、適切に書くことができる。	B(1)ウ	66.5
29		②	☆		3行未満で書いている		◎				段落と段落の続き方に注意して書くことができる。	B(1)イ	52.9
30	7	③	☆		「自分がなぐつを盗んだか」がわかるように書かれている		◎		⑨作文		書く必要がある事項を収集したり選択したりすることができる。	B(1)ウ	80.2
31		④	☆		「グワフを見てわかったこと」が書かれている		◎				書く必要がある事項を収集したり選択したりすることができる。	B(1)ウ	71.8
32		⑤	☆		「自分の考え」がはっきりと書かれている		◎				書く必要がある事項を収集したり選択したりすることができる。	B(1)イ	57.1

※いづれも3-4年

【観点について】◎が主たる観点、○が併たる観点を表しています。

【解答形式について】問題が択択式問題、「記述問題」のどちらであるかを表しています。




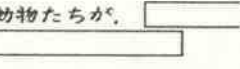

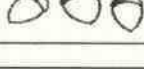
## 2. 出題例とその分析

国語 問5 (5) (報告書P.17, 問題P.8参照)

### ○ 出題のねらい

目的に応じて、細かい点に注意して文章を読み、内容を要約することができる。

植物や動物の関係を図にまとめて説明する言語活動を想定し、内容を理解して要約する力を問う問題である。全国学力・学習状況調査においても、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながら条件に合わせて文章を書くことに課題があることが指摘されている。

動物	動物たちが、木の実を土の中にうめる。	
動物	動物たちが、	
植物	木の実が芽生えて育つ。	
植物	木の実がたくさん実る。	

⑤ 佐藤さんは、植物と動物の関係を次のような図にまとめました。次の点に注意して、には、  
てはまる言葉を書きましょう。

〔注意する点〕

① 「動物たちが、」に続くように書きましょう。

② 「木の実」という言葉を使わず使しましょう。

③ 二十五字以内でまとめて書きましょう。

正答率 31.8% 正答例 「木の実をかくした場所をわすれたり、食べ残したりする」  
主な誤答 ・「木の実」という言葉が使われていない。18.6%

### ○ 授業改善に向けて

誤答の原因としては、「木の実」という言葉が使われていなかったり、「木の実」を「タネ」などの他の言葉に言い換えてしまっていたりなど、問題の指示に従って書くことができないということがみられた。また、設問で示されている条件の理解が十分ではないことや設問にある図の流れを理解できていないことも考えられる。

この力を育成するために、「自分が関心をもったところを紹介するために読む」ことや「疑問に思ったことを解決するために読む」など、子どもに読む目的をもたせることが大切である。その目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのため取り上げる中心となる語や文も変化してくるからである。また、その上で必要な情報について付箋などを用いて取り出したり、内容を分類したり関係付けたりして整理する指導も必要である。目的を明確にし、分量や時間、要点や細かい点に注意しながら要約する学習経験を重ねていくことが大切である。

1. 応用・総合解一覽

数学的な考え方 58.8%  
数量や図形についての技能 62.4%  
数量や図形についての知識・理解 64.0%

選し 番号	大問 番号	小問 番号	解答形式 選択	解答形式 記述	正答 (選択式一番号、記述式一言葉)	観点		問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	正答率
						数学的な 考え方	知識・ 理解					
1	(1)		☆	7.92		⑤	⑤	小数のたし算・ひき算	A数と計算	小数第二位までの小数の加法ができる	4年A(5)イ	73.1
2	(2)		☆	61.37		⑤	⑤	小数のたし算・ひき算	A数と計算	小数第二位までの小数の減法ができる	4年A(5)イ	59.5
3	(3)		☆	25.2		⑤	⑤	小数と整数のかけ算・わり算	A数と計算	(小数)×(1桁た)の乗法ができる	4年A(5)ウ	86.4
4	(4)		☆	2.75		⑤	⑤	式と計算	D数量関係	(整数)÷(整数)のわり算の筆算ができる	4年D(2)ア	64.4
5	(5)		☆	4		⑤	⑤	式と計算	D数量関係	四則混合計算ができる	4年D(2)ア	81.7
6	(6)		☆	4 1/7 または 29/7		⑤	⑤	分数のたし算・ひき算	A数と計算	帯分数を含む部分分数の加法ができる	4年A(6)イ	73.0
7	2		☆	6(本とれて)1.7(cmあまり)		⑤	⑤	分数のたし算・ひき算	A数と計算	(小数)÷(1桁た)の余りのある除法の連用問題ができる	4年A(5)ウ	42.8
8	(1)		☆	19		⑤	⑤	分数の大きさ	A数と計算	分数が帯分数のいくつかで表せることができる		68.7
9	3		☆	1 2/5 または 7/5		⑤	⑤	分数の大きさ	A数と計算	テープ図に表された分数を読み取ることができる	4年A(6)	55.5
10	(3)		☆	4 1/4 (>) 34 (>) 15/4 (完答)		⑤	⑤	分数の大きさ	A数と計算	分数の大小がわかり、帯分数・百分数・小数を大小順に並べることができる	4年A(6)	64.7
11	(1)		☆	3		⑤	⑤	大きな数	A数と計算	位取り図の読み取り、1億より大きい数を読み取ることができる	4年A(1)ア	79.0
12	(2)		☆	730億		⑤	⑤	大きな数	A数と計算	数直線に表された数を読み取ることができる	4年A(2)イ	93.1
13	5		☆	48000 または 約48000		⑤	⑤	がい数	A数と計算	四捨五入を理解し、千の位までの概数で表すことができる	4年D(2)ア	70.6
14	6		☆	(左から) - , ×		⑤	⑤	式と計算	D数量関係	計算順序に関する文章問題を式に表すことができる	4年D(2)ア	32.5
15	7		☆	4		⑤	⑤	式と計算	D数量関係	四則混合計算の仕方がわかり、指定された式になる問題を導出できる	4年D(2)ア	72.5
16	(1)		☆	3		⑤	⑤	かけ算・わり算	A数と計算	倍とわり算の問題を式に表すことができる	4年A(3)ア	51.7
17	(2)		☆	1200÷4(=300)または口×4=1200		⑤	⑤	式と計算	D数量関係	図をもとに互しく味を立てることができる	4年D(3)ア	52.8
18	9		☆	100 または (64+36)		⑤	⑤	式と計算	D数量関係	計算のまりを理解している	4年D(3)ア	67.1
19	10		☆	① 360 ② 40 ③ 320		⑤	⑤	角	B量と測定	180°より大きい角のくふうした求め方がわかる	4年B(2)ア、イ	75.3
20	(1)		☆	2		⑤	⑤	面積	B量と測定	面積の大きさについての感覚を養っている	4年B(1)ア	22.5
21	(2)		☆	(式)6×6 (=36) (答え)36(cm)		⑤	⑤	面積	B量と測定	正方形の面積を求めることができる	4年B(1)ア、イ	74.4
22	12		☆	対辺の長さが7cmと4cmの平行四辺形		⑤	⑤	面積・平行と四角形	C図形	平行四辺形の作図ができる	4年D(1)イ	74.5
23	(1)		☆	イ、ウ、エ(間不同、完答)		⑤	⑤	面積・平行と四角形	C図形	角が1つ合った角の大きさの性質がわかる	4年D(1)イ	69.8
24	(2)		☆	ウ、エ(間不同、完答)		⑤	⑤	面積・平行と四角形	C図形	角が1つ合った角の大きさの性質がわかる	4年D(1)イ	59.8
25	(1)		☆	3		⑤	⑤	立体	C図形	立方体の展開図がわかる	4年D(2)ア、イ	52.6
26	(2)		☆	(国)い、(国)え、(国)お、(国)か(間不同)		⑤	⑤	立体	C図形	立方体の面に垂直な面がわかる	4年D(2)ア、イ	73.5
27	15		☆	0×4(=Δ)または0×0+0+0(=Δ)		⑤	⑤	変わり方	D数量関係	ともなって変わる二つの数量の関係を式に表すことができる	4年D(2)ウ	59.9
28	(1)		☆	12分後		⑤	⑤	変わり方	D数量関係	折れ線グラフから中間値を読み取ることができる		76.2
29	(2)		☆	ウ		⑤	⑤	折れ線グラフ	D数量関係	折れ線グラフから二つの数量の変化を読み取って、順番に沿ってグラフを折折している	4年D(4)イ	58.9
30	選択		☆	イ		⑤	⑤	折れ線グラフ	D数量関係	折れ線グラフを用いると、ともなって変わる二つの数量の変化の様子をわかりやすく表すことができることを理解している		81.1
31	説明		☆	グラフの特徴をもとに説明できている		⑤	⑤	折れ線グラフ	D数量関係	折れ線グラフの表した特徴を思い出し、具体的な事象と結びつけて考える、理由を説明することができる		51.4
32	(1)		☆	9×9(=81)または(12-3)×9(=81)		⑤	⑤	面積	B量と測定	複合図形の面積の求め方を考え、式に表すことができる	4年B(1)ア、イ	58.9
33	(2)	①	☆	矢印が正しい位置(=書かれて)		⑤	⑤	面積	B量と測定	複合図形の面積の求め方を考え、裏面することができる		66.7
34	(2)	②	☆	①が正方形だととらえてからとらえて説明している ②図形を動かしたことを説明している		⑤	⑤	面積	B量と測定	複合図形の面積の求め方を考え、説明することができる		59.6

【観点について】◎が生じる観測、○が生じる観測、△が生じる観測を要しています。

【解答形式について】問題が選択問題、「記述問題」のどちらであるかを☆で表しています。



## 2. 出題例とその分析

算数 問 17(2) (報告書 P.46, 47 問題 P.13 参照)

### ○ 出題のねらい

複合図形の面積の求め方について、図を動かして説明することができる

(1) のまきさんの求め方を基に、提示された式を読み取り、等脚台形の面積の求め方を図に矢印をかき入れて説明する問題を出題した。

(1) まきさんは、下のように入考えました。まきさんの求め方を式に表しましょう。

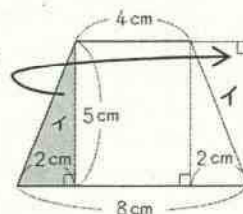
	<p>説明</p> <p>アの部分を、矢印のところに動かして、正方形と考えて面積を求めました。</p>
式                    ?	答え $81\text{cm}^2$

(2) (1) のまきさんの求め方を参考にひとしさんは、右の図のような形の面積を、下のように入計算して求めました。

式  $5 \times 6 = 30$  答え  $30\text{cm}^2$

ひとしさんの求め方がわかるように、  
①解答用紙の図に矢印の線をかき入れましょう。

また、②文章で説明しましょう。



正答率 59.3% 無答率 21.5%

「長方形」と説明できていない 12.9%

### ○ 授業改善に向けて

今年度、初めて等脚台形の面積を求める問題として出題したが、昨年度を上回る結果となった。正答率は、年々上がってきており、考えた方を説明することや友達の式や図を読み取することを大切に指導してきた成果の表れであると考えられる。しかし、動かした図を長方形として捉えて説明することができていない誤答が 12.9% であることから、長方形を利用して、台形の面積を求めることが理解できていないこと、自分の考えを表現するときに、用語を正しく用いることができないことが推察される。

指導に当たっては、面積の求め方を考えさせるときには、解決への見通しをもたせること、解決をしていくときには、図、操作、式、言葉などを関連付けて、理由や根拠を考えさせ、正しく記述させることを大切にしたい。

1. 小問別の問題内容と結果正答率〔国語第3学年〕

話すこと・聞くこと 97%  
 読むこと 70%  
 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 57%

問題番号	大問	小問	話・聞	読	言	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	無答率
1		ア 1	◎			①聞き取り (話し合い)	話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。	94	0
		2	◎				話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。	96	1
		3	◎				話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。	96	0
		イ	◎				話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。	98	0
		ウ	◎				話題とグラフの関係をとらえて聞くことができるか。	97	0
2		ア 1		◎		②漢字の読み	既習の漢字について、正しく音読みできるか。	43	14
		2		◎			既習の漢字について、正しく音読みできるか。	87	4
		3		◎			既習の漢字について、正しく音読みできるか。	63	5
		4		◎			既習の漢字について、正しく訓読みできるか。	73	10
		5		◎			既習の漢字について、正しく訓読みできるか。	77	1
		イ 1		◎		③漢字の書き	既習の漢字について、正しく書くことができるか。	37	6
		2		◎			既習の漢字について、正しく書くことができるか。	39	11
		3		◎			既習の漢字について、正しく書くことができるか。	30	39
		4		◎			既習の漢字について、正しく書くことができるか。	42	36
		5		◎			既習の漢字について、正しく書くことができるか。	36	41
		ウ		◎		④言葉に関する知識	ことわざを理解できるか。	77	0
		エ		◎			同訓異字を理解できるか。	72	0
		オ		◎			品詞の識別ができるか。	66	0
3		ア		◎		⑤俳句の鑑賞	内容理解と的確な鑑賞ができるか。	71	0
		イ		◎			内容理解と的確な鑑賞ができるか。	94	0
		ウ A		◎			内容理解と的確な鑑賞ができるか。	63	20
		B		◎			表現技法を理解できるか。	91	0
		C		◎			表現上の特色が理解できるか。	83	0
D		◎		手語・季節を理解できるか。	24	0			
4		ア		◎		⑥文学的文章の読み取り	内容の理解・把握ができるか。	89	0
		イ		◎			内容の理解・把握ができるか。	89	0
		ウ		◎			内容の理解・把握ができるか。	57	9
		エ		◎			登場人物の心情を読み取ることができるか。	94	0
		オ		◎			登場人物の心情を読み取ることができるか。	86	0
		カ		◎			登場人物の心情を読み取ることができるか。	92	0
		キ		◎			内容の理解・把握ができるか。	80	16
ク		◎		人物像を正しく把握できるか。	96	0			
5		ア		◎		⑦説明的文章の読み取り	内容の理解・把握ができるか。	73	0
		イ		◎			文相互の関係が理解できるか。	88	0
		ウ		◎			内容の理解・把握ができるか。	95	0
		エ		◎			内容の理解・把握ができるか。	76	0
		オ		◎			段落相互の関係が理解できるか。	52	0
		カ		◎			内容の理解・把握ができるか。	88	0
		キ		◎			内容の理解・把握ができるか。	83	0
ク		◎		要旨が把握できるか。	35	9			
6		ア		◎		⑧古典の読み取り	地の文と会話文を識別できるか。	46	8
		イ		◎			歴史的仮名遣いを正しく理解しているか。	66	7
		ウ		◎			主語の把握ができるか。	47	3
		エ		◎			内容の理解・把握ができるか。	8	24
オ		◎			内容の理解・把握ができるか。	37	3		

◎…主たる観点



2. 出題例とその分析

国語 3年 問5-ク (報告書P.16, 問題P.167参照)

○ 出題のねらい

内容や要旨を的確に捉え、条件を満たして記述することができる。

図表を用いた文章から内容を捉え、条件を満たして記述する問題である。書き出しと書き終わりを指定し、表を読み取った上で筆者の考えの理由を説明させた

		移動距離					
		1km	2km	3km	4km	5km	6km
交通手段	徒歩	12分30秒	25分00秒	37分30秒	50分00秒	62分30秒	75分00秒
	自転車	8分00秒	12分00秒	16分00秒	20分00秒	24分00秒	28分00秒
	自動車	10分26秒	13分51秒	17分17秒	20分43秒	24分09秒	27分34秒
	バス	14分17秒	18分34秒	22分51秒	27分09秒	31分26秒	35分43秒
	鉄道	18分53秒	20分45秒	23分38秒	25分30秒	27分23秒	29分15秒

注：1秒未満は四捨五入。

図2 都市内各交通手段による移動時間の比較  
[移動時間には、出発・待ち時間等を含む。]

ク 「医療の」線「有効かつ合理的と考えられています」とありますが、その理由を説明しなさい。ただし、次の条件を満たすように書きなさい。

【条件】

- 1 書き出しは「五キロを移動する場合、書き終わりは「から」とし、一文となるように書くこと。
- 2 二十字以上、三十字以内で書くこと。
- 3 読点(、)も一字と数えること。

正答率 35%

正答例 「自動車等と比較して、自転車はもっとも速い交通手段となっている」

主な誤答

- ・ 条件である1～3を満たしていない 36%
- ・ 必要な語句の捉えが十分でない 20%

○ 授業改善に向けて

主な誤答の原因としては、記述することができても、「図2」の表と文章を関係付けて内容を捉えられていないために必要な語句が十分でなかったり、筆者が考える「有効かつ合理的」について正しく読み取ることができていなかったりすることが考えられる。

「内容や要旨を的確に捉える能力」を育成するためには、文章全体を概括したり、細部の表現に注意したりしながら読むことだけではなく、文章の内容について自分の考えをもつことを含んでいることを踏まえて指導することが大切である。また、説明的な文章には、図表が使われていることが多い。その際、文章が図表の解説になっている場合などがある。図表が文章の中心的部分、又は、付加的な部分のどの部分と関連しているかを確認させるなどして、書き手の伝えたい内容をよりの確に読み取らせることが大切である。



1. 小問別の問題内容と結果正答率〔社会第2学年〕

歴史的分野 40%以下の問題  
 問1 イ、ウ、オ、カ 問4 ア、ウ、エ  
 地理分野 50%以下の問題  
 問6 ウ 問8 カ 問9 エ

問題番号	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	無答率	
	大問	小問	思 技 知					
1		ア	◎	◎	中世の日本とアジア	日明貿易の輸入品について、正しく理解しているか。	49	0
		イ	◎	○		室町幕府のしくみについて、資料を読み取り、正しく理解しているか。	32	0
		ウ	○	◎		室町時代の文化について、正しく理解し判断しているか。	32	0
		エ	◎	○		足利義満の政治について、正しく判断し理解しているか。	45	2
		オ	◎	◎		中世の商業について、正しく理解しているか。	25	1
2		ア	○	◎	近世の日本の政治	織田信長の政策について、正しく理解し判断しているか。	73	0
		イ	◎	◎		豊臣秀吉の朝鮮侵略について、正しく理解しているか。	58	0
		ウ	◎	◎		参勤交代について、正しく理解しているか。	60	23
		エ	◎	○		鳥原・天草一揆の場所について、資料を活用し正しく理解しているか。	53	0
		オ	◎	○		江戸時代の農村の様子について、正しく判断し理解しているか。	44	1
3		ア	◎	◎	中世から近代の世界	近代のフランスについて、正しく判断し理解しているか。	54	0
		イ	◎	○		近代のイギリスとアメリカ合衆国について、正しく判断し理解しているか。	55	0
		ウ	◎	◎		近代の欧米諸国の変化について、正しく判断しているか。	45	0
4		ア	◎	○	近世から近代にかけての日本	ルネサンスの特色について、資料から適切に選択する力があるか。	63	1
		イ	◎	○		田沼意次の政治について、正しく判断し理解しているか。	31	1
		ウ	◎	◎		寛政の改革について、資料を活用し正しく理解しているか。	44	0
		エ	◎	○		江戸時代の新しい学問について、正しく理解しているか。	24	26
		オ	◎	◎		アヘン戦争の結果と日本への影響について、資料を活用し、適切に表現できるか。	22	27
5		ア	◎	○	世界の諸地域(北アメリカ州)	井伊直弼の政策について、正しく理解しているか。	66	3
		イ	◎	○		幕末の社会の様子について、資料を活用し、正しく判断しているか。	60	3
		ウ	◎	○		アメリカ合衆国の地形について、資料を活用し、正しく理解しているか。	62	1
		エ	○	◎		アメリカ合衆国発祥のものを、正しく理解しているか。	74	1
6		ア	◎	◎	世界の諸地域(南アメリカ州)	北アメリカ州の歴史や人種・民族構成について、資料から読み取り、正しく判断しているか。	67	1
		イ	◎	◎		北アメリカ州の農業について、資料から読み取り、正しく判断しているか。	78	1
		ウ	◎	◎		北アメリカ州の航空機・宇宙産業について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	63	1
		エ	◎	◎		南アメリカ州の農業について、正しく理解しているか。	66	0
7		ア	◎	◎	日本の姿	時差について、資料を活用し、正しく理解しているか。	58	0
		イ	◎	◎		南アメリカ州の気候について、資料を活用し、正しく判断しているか。	44	1
		ウ	○	◎		ブラジルの環境問題とその対策について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	75	1
		エ	◎	○		南アメリカ州の輸出品の変化について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	71	0
8		ア	◎	○	世界と比べた日本の地域的特色	南アメリカ州の輸出品の変化について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	71	0
		イ	◎	◎		日本の東西南北の端にある島を、資料を活用し、正しく理解しているか。	57	1
		ウ	◎	◎		排他的経済水域について、正しく理解しているか。	61	14
		エ	◎	◎		陸地での都道府県と接している数をもっとも多い県を、資料を活用し、正しく理解しているか。	79	1
9		ア	◎	◎	日本の諸地域(中国・四国地方)	日本の都道府県と都道府県庁所在地について、正しく理解しているか。	70	1
		イ	◎	◎		日本の地形の特色について、正しく理解しているか。	71	1
		ウ	◎	◎		日本の自然災害について、資料を活用し、正しく理解しているか。	62	1
		エ	◎	○		日本の年齢構成の割合について、資料を活用し、正しく理解しているか。	77	1
		オ	◎	○		日本の過疎化の特徴と課題について、資料を活用し、適切に表現できるか。	63	23
9		ア	◎	○	日本の諸地域(中国・四国地方)	日本の貿易相手国輸出入の変化について、資料を活用し、正しく理解しているか。	82	1
		イ	◎	◎		日本の発電方法について、資料を活用し、正しく理解しているか。	39	0
		ウ	◎	◎		日本と世界の地域間の結びつきについて、資料を読み取り、正しく判断しているか。	76	2
		エ	○	◎		本州四国連絡橋の開通による交通手段の変化について、資料を活用し、正しく判断しているか。	78	2
		オ	◎	◎		交通網の発達について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	86	2
9		ア	◎	◎	日本の諸地域(中国・四国地方)	瀬戸内工業地域について、資料を活用し、正しく判断しているか。	86	0
		イ	◎	◎		水島港の輸入品目について、資料を活用し、正しく判断しているか。	53	2
		ウ	◎	◎		中国・四国地方の農業の特徴について、資料を読み取り、正しく判断しているか。	80	2
9		ア	◎	◎	日本の諸地域(中国・四国地方)	中国・四国地方と他地域との結びつきについて、資料を読み取り、正しく判断しているか。	74	2
		イ	◎	◎				

◎…主たる観点 ○…従たる観点

2 出題例とその分析

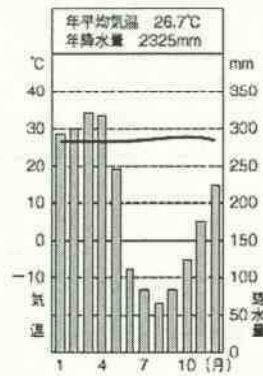
社会 2年 問6 (ウ) (エ) (報告書P49, 問題P189, 190参照)

○ (ウ) 出題のねらい  
南アメリカ州の気候について、資料を活用し、正しく判断しているかを問う。

「赤道付近は気温が高い」「アマゾン川流域の熱帯林は降水量が多い」という「既習事項」を活用し、雨温図と略地図から読み取ったことを関連付けて都市を選ぶ問題である。

(ウ) 下線⑥について、つぎの雨温図にあてはまる都市の位置を、つぎの略地図中の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

雨温図



略地図



(ウ) 正答①

解答傾向 (%) ① 44 ② 18 ③ 26 ④ 11

○ (オ) 出題のねらい  
南アメリカ州の輸出品の変化について資料を読み取り、正しく判断しているかを問う。

国別と年代別のグラフを読み取り、選択肢から正しい記述を判断する問題である。

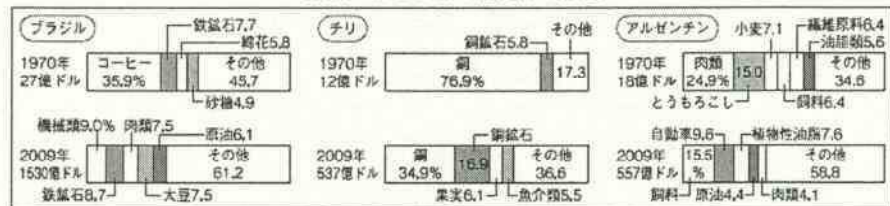
(オ) 正答③

解答傾向 (%)

① 11 ② 9 ③ 71 ④ 9

(オ) 下線⑥について、つぎの資料をみて読み取れるものを、下の①～④から1つ選び、番号で答えなさい。

資料 おもな国の輸出品の変化



(UN Comtrade, ほか)

- 1970年と2009年を比較すると、チリでは銅の輸出品の割合は34.9%から76.9%に増加している。
- 1970年の総輸出額はアルゼンチンよりブラジルのほうが多いが、2009年にはアルゼンチンの総輸出額がブラジルの約3倍になっている。
- 1970年と2009年を比較すると、ブラジルの輸出額でもっとも多い品目はコーヒーから機械類に変化し、総輸出額は50倍以上増加している。
- 1970年と2009年を比較すると、アルゼンチンの輸出額でもっとも多い品目は肉類から飼料に変化し、総輸出額は減少している。

○授業改善に向けて

(オ)のように「資料から読み取ったことを関連付けて解答する」問題については比較的正答率が高い。しかし、(ウ)のように「資料から読み取ったことと既習事項を関連づけて解答する」問題については正答率が低くなっていて、課題といえる。

今後はこれまでの取り組みに加えて、既習の知識や概念と、資料から読み取ったことを関連付ける等、習得したことを活用して課題を解決する学習を一層充実していく。

資料を読み取る際には「本時の課題」や「何のために読み取るのか」ということを確認したり、それまでの学習との関連を示したり、既習事項の活用の仕方を示したりすることが必要である。



1. 小問別の問題内容と結果正答率〔数学第2学年〕

数学的な見方や考え方 49%  
 数学的な技能 58%  
 数量や図形についての知識・理解 61%

問題番号		観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)		無答率
大問	小問	考	技知					
1	①	◎		文字式の計算	同類項を整理することができる。		83	2
	②	◎			展開式を用いて、同類項を整理することができる。		82	3
	③	◎			数字と文字の混じった乗除の計算ができる。		67	5
	④	◎			同類項を整理することができる。		51	8
2	①(i)	◎		等式の変形・式の値	等式の変形ができる。		46	22
	①(ii)	◎			与えられた数値を代入して、正しい値を求めることができる。		43	26
	②	◎			与えられた数値を代入して、正しい値を求めることができる。		44	22
3	①	◎		連立方程式の解法	加減法を用いて、連立方程式を解くことができる。		76	4
	②	◎			代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。		68	9
	③	◎			連立方程式を解くことができる。		80	8
4	①	◎		連立方程式の応用	問題文の条件から何をx、何をyとおけばよいかを判断することができる。		59	5
	②	◎			連立方程式を立てることができる。		71	18
5	①	◎		比例・反比例	表から式を判断し、そのグラフを書くことができる。		42	5
	②	◎			問題文から、反比例の式を立てることができる。		34	22
6	①	◎		空間図形・平面図形	円錐の体積を求めることができる。		40	14
	②	◎			円錐の展開図を判断することができる。		55	2
	③	◎			平面図と見取り図の関係を判断することができる。		66	2
7	①	◎		平行線と角・多角形の角	角の性質を利用して、正しい値を求めることができる。		22	21
	②	◎			多角形の角の性質を利用して、問われている値を求めることができる。		44	10
8	①	◎		三角形の合同	問題文の条件から、問われている式を求めることができる。		54	8
	②	◎			証明の内容から問われている三角形の合同条件を判断することができる。		65	10
9	①	◎		資料の活用	表Aの内容から問われている度数分布表をつくることができる。		84	5
	②	◎			与えられた情報から推論・比較して意味を理解することができる。		54	4
10	①	◎		課題学習	与えられた情報から推論・比較して意味を理解することができる。		28	6
	②	◎			与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、問われている運賃の合計金額を求めることができる。		22	47

◎…主たる観点

## 2. 出題例とその分析

数学 2年問10 (報告書P.69, 問題P.219 参照)

### ○ 出題のねらい

与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、具体的な事象から取り出した二つの数量を表したグラフを判断することができる。

日常生活や社会において、数学で学んだことを活用することが期待されていることから、2年生では、電車の運賃に関して、IC運賃と切符運賃の乗車距離に関する出題をした。

問10

消費税が8%になり、電車の運賃はIC運賃(Suica, PASMO など)と切符運賃では支払う金額が異なる区間ができました。消費税が8%のIC運賃と切符運賃は、次のように計算します。

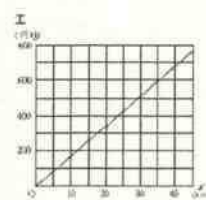
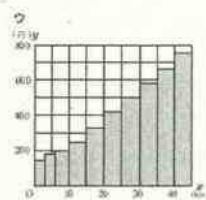
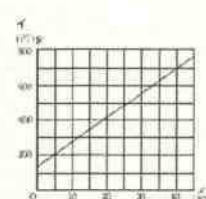
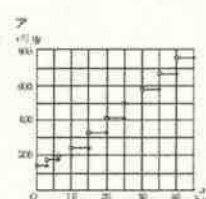
IC運賃

(消費税5%のときの運賃)  $\times \frac{108}{105}$   
を求め、1円未満の端数を切り捨て、1円単位とした金額

切符運賃

IC運賃の1円の位を四捨五入し、10円単位とした金額

乗車距離 $x$ (km)	消費税8%の運賃	
	IC運賃(円)	切符運賃 $y$ (円)
より短い区間		
0 ~ 3	144	140
3 ~ 6	185	190
6 ~ 10	195	200
10 ~ 15	237	240
15 ~ 20	324	320
20 ~ 25	410	410
25 ~ 30	496	500
30 ~ 35	583	580
35 ~ 40	669	670
40 ~ 45	756	760



また、右上の表は乗車距離とIC運賃、切符運賃の関係を表したものです。このとき、次の問いに答えなさい。

- ① 乗車距離を $x$ km、切符運賃を $y$ 円とすると、 $x, y$ の関係を表すグラフとして最もふさわしいものを下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

乗車距離と切符運賃の関係を表すグラフを選ぶ。

正答ア 解答傾向 (%)

ア28 イ15 ウ35 エ18

### ○ 授業改善に向けて

棒グラフで表されたウを選ぶ誤答が35%であることから、約半数の生徒は、ある乗車距離の間は金額が一定であることは捉えられていたが、そのことを表すグラフを判断することができていないと考えられる。

指導に当たっては、2つの変数 $x$ と $y$ の関係を捉えるときには、具体的な事象と表、式、グラフを相互に関連付けることを重視する必要がある。特に、グラフから事象を考察することは、全国調査でも課題として報告されているので、グラフが何を表しているのかを読み取る活動等を位置付けて、グラフを考察する力を付けさせたい。また、 $x$ の値を1つ決めるとそれに対応して、 $y$ の値が1つ決まるという関数の定義を理解させることも重要である。



1. 小問別の問題内容と結果正答率〔理科第2学年〕

科学的な思考・表現 49.6%  
 観察実験の技能 57.0%  
 自然事象についての知識・理解 52.3%

問題番号	大問	小問	観点	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	無答率
1	a	a	③	身のまわりの物質とその性質	ガスバーナーのしくみについて理解しているか。	56	0
		b	④		有機物を区別できるか。	39	1
		c	③		金属の性質について理解しているか。	71	0
		d	④		物質の密度の求め方について理解しているか。	33	1
2	a	a	④	気体の発生と性質	酸堿の発生方法について理解しているか。	52	1
		b	④		気体を捕集する際の留意点とその理由について理解しているか。	63	19
		c	④		気体の適切な捕集方法について理解しているか。	42	2
3	a	a	④	水溶液	水溶液の粒子モデルについて理解しているか。	56	1
		b	④		水溶液の質量パーセント濃度の求め方について理解しているか。	35	2
		c	④		ろ過の原理について理解しているか。	57	18
		d	④		結晶について理解しているか。	47	27
4	a	a	④	状態変化	融点測定の方法について理解しているか。	20	1
		b	④		沸点のちがいを利用して蒸留によって液体の混合物を分離するしくみについて理解しているか。	71	2
5	a	a	④	回路と電流・電圧 電流・電圧と抵抗	回路図の作図ができるか。	59	7
		b	④		電流計の使い方について理解しているか。	62	2
		c	④		電圧と電流の大きさの関係についてグラフを書けるか。	60	8
		d	④		電流と電圧の大きさから抵抗の大きさを立式して求めることができるか。	51	16
6	a	a	④	電気とそのエネルギー	電熱線に電流を流したときの時間と水の温度上昇の関係について、グラフを読み取ることができるか。	38	2
		b	④		発熱量(J)を立式して求めることができるか。	24	17
7	a	a	④	静電気と電流	直流電流と交流電流の性質のちがいを理解しているか。	67	1
		b	④		誘電線の性質を理解しているか。	50	1
8	a	a	④	電流と磁界	電流のまわりにできる磁界の向きを理解しているか。	37	2
		b	④		電流が磁界から受ける力について理解しているか。	57	2
		c	④		電磁誘導のしくみについて理解しているか。	32	4
9	a	a	④	火山活動と火成岩	火山灰にふくまれる鉱物の観察から、火山噴出物の主な色、マグマのねばりけ、噴火の様子を推測することができるか。	38	2
		b	④		おもな鉱物による岩石の見た目の色、組織のつくりを理解しているか。	46	2
		c	④		結晶のでき方を調べる実験から、火山岩の組織ができる原因を推測できるか。火山岩をつくる石炭、斑岩という名称を理解しているか。	42	2
10	a	a	④	地震の伝わりと地球内部の働き	地震の分布図から、地震の伝わり方を考えることができるか。	75	2
		b	④		地震計の記録から、2種類の地震の波の性質と初期微動継続時間について考えることができるか。	66	2
		c	④		地震による初期微動と主要動の発生した時刻から、震央からの距離を推測することができるか。	35	4
11	a	a	④	地層の厚なりと過去の様子	粒の大きさによる石がリ方の違いを調べる実験から、堆積する土砂の柱状図を推測できるか。	82	2
		b	④		石灰岩、チャートの性質や特徴について理解しているか。	42	3
		c	④		化石の観察から、サンゴの化石が見つかったことで、当時の場所がどのような環境であったのかを推測することができるか。	33	6
12	a	a	④	生物と細胞	細胞の観察に用いる染色液の名称を理解しているか。	50	4
		b	④		染色液によって染まる部分の名称を理解しているか。	50	4
13	a	a	④	生命を維持するはたらき	動物と植物の細胞の共通点や相違点について理解しているか。	52	2
		b	④		対照実験の意味と、消化酵素のはたらきが活発になる温度について理解しているか。	71	3
		c	④		だ液のはたらきについて、実験を通して考えることができるか。	63	16
14	a	a	④	生命を維持するはたらき	だ液にふくまれる消化酵素の名称を知っているか。	75	4
		b	④		赤血球の名称とはたらきについて理解しているか。	52	6
		c	④		細胞の呼吸について理解しているか。	54	3
		d	④		動脈血がどのようなものか、理解しているか。	51	3
15	a	a	④	刺激と反応	腎臓のはたらきについて理解しているか。	62	3
		b	④		肉食動物、草食動物の目のつくりとはたらきについて理解しているか。	82	3
		c	④		虹彩のはたらきと名称について理解しているか。	57	3
		d	④		実験から、刺激を受けとってから反応までの流れを考えることができるか。	60	4
		e	④		反射の代表的な例について理解しているか。	26	8
16	a	a	④	動物のなかま	けん、関節の名称とその部分の場所について理解しているか。	36	16
		b	④		同生類の呼吸の方法が親と子で変わることについて理解しているか。	85	7

◎…主たる観点

## 2. 出題例とその分析

理科 2年間6(a) (報告書P.78, 問題P.244参照)

### ○ 出題のねらい

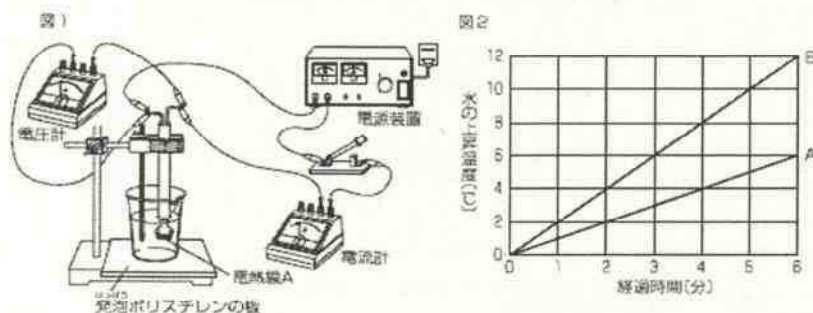
電熱線に電流を流して水を温めたときの水の温度上昇と電流を流した時間との関係について、グラフから読み取ることができるか。

実験結果を分析し解釈する力をはかるために、データをグラフで表し、その結果について考察する問題である。

問 6

電流による発熱量を調べるために実験を行いました。次の各問いに答えなさい。

- 実験
- 図1のように、室温と同じ温度の水 100g を入れ、電熱線Aに一定の電圧を加え続けて、時間の経過と水の上昇温度の関係について調べた。
  - 電熱線Aを電熱線Bに変えて1と同様の実験を行った。
  - 1、2について、経過時間を横軸に、水の上昇温度を縦軸にとり、結果を図2のようにグラフにした。



- a 図2からわかることについて正しく説明しているものはどれですか。次の①～⑤からすべて選び、その番号で答えなさい。
- 時間の経過と水の上昇温度は比例している。
  - 同じ温度だけ水温を上昇させるのに、電熱線Bは電熱線Aの半分の時間で済む。
  - 同じ温度だけ水温を上昇させるのに、電熱線Bは電熱線Aの2倍の時間がかかる。
  - 電熱線Aでは100gの水の温度を2℃上昇させるのに4分かかる。
  - 電熱線Bでは100gの水の温度を4℃上昇させるのに2分かかる。

正答 ①②⑤(完全回答) 正答率 38%  
誤答例 ①③⑤ 16%、 ①③ 10%

### ○ 授業改善に向けて

①と⑤を回答した生徒は多く、電流を流す時間と水の上昇温度が比例していることと、それぞれの電熱線において、ある温度だけ上昇させるのにかかる時間を読み取ることはできている。しかし、③を選んだ誤答が多いことから、2つのグラフを比較して解釈する力に課題があると考えられる。

この力を育成するために、1つの電熱線についての実験を行った後、もう1つの電熱線について、流れる電流の強さの違いをもとにして発熱量について予想させながら実験を行い、結果をグラフに表わして比較する学習活動等を充実させたい。見通しをもって実験に取り組むことで、グラフの違いが発熱量の違いに関係していることを見いだすことができるようになることを期待される。



1. 小問別の問題内容と結果正答率〔英語第2学年〕

外国語表現の能力 13.8%  
 外国語理解の能力 55.4%  
 言語や文化についての知識・理解 54.6%

問題番号		観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)		無答率
大問	小問	考	技			知		
1	a	◎		会話文の組立て	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができる。	94	1	
	b	◎				68	1	
	c	◎				90	1	
2	①		◎	語彙の知識	英文を読みとり、日本語にあった語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。	47	26	
	②		◎			68	15	
	③		◎			52	18	
	④		◎			68	11	
3	a		◎	会話文の内容を読みとり、それにあてはまる適切な語句を選択することができる。	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	69	1	
	b		◎			71	1	
	c		◎			63	1	
	d		◎			74	1	
	e		◎			61	1	
4	a		◎	単語の並べ替え	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	26	2	
	b		◎			79	2	
	c		◎			33	2	
	d		◎			45	3	
	e		◎			9	3	
5	a		◎	会話文の組立て	会話の流れに注意しながら、その内容を十分に理解し、その内容のまとめを適切に表現できる。	43	1	
	b		◎			17	1	
	c		◎			43	2	
6	a		◎	説明や会話文の読み取り	説明文や対話文やメールなどから正しく情報を読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文や絵やグラフを選ぶことができる。	41	2	
	b		◎			61	3	
	c		◎			53	3	
7	A		◎	長い文章の読み取り	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとったりすることができる。	62	2	
	B		◎			70	2	
	C		◎			41	3	
	D		◎			42	3	
	E		◎			35	5	
	F		◎			56	6	
	F		◎			32	6	
8	①	◎	○	英作文	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	12	42	
	②	◎	○			13	29	
9		◎			与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができる。	17	24	
放送1	a		◎	リスニング (絵を選ぶ)	短い会話文を聞きとり、その内容を把握して、適切な絵を選択することができる。	64	1	
	b		◎			78	1	
放送2	a		◎	リスニング (会話内容)	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択することができる。	81	1	
	b		◎			59	1	
放送3	a		◎	リスニング (絵を選ぶ)	会話文を聞き、その会話内容に対する質問の答えとなる適切な絵を選択することができる。	68	1	
	b		◎			65	1	
放送4	①		◎	リスニング (会話内容)	まとまった長い英文を聞き、要点を押さえて理解したことを、日本語で記述できる。	33	30	
	②		◎			35	19	

◎…主たる観点 ○…従たる観点

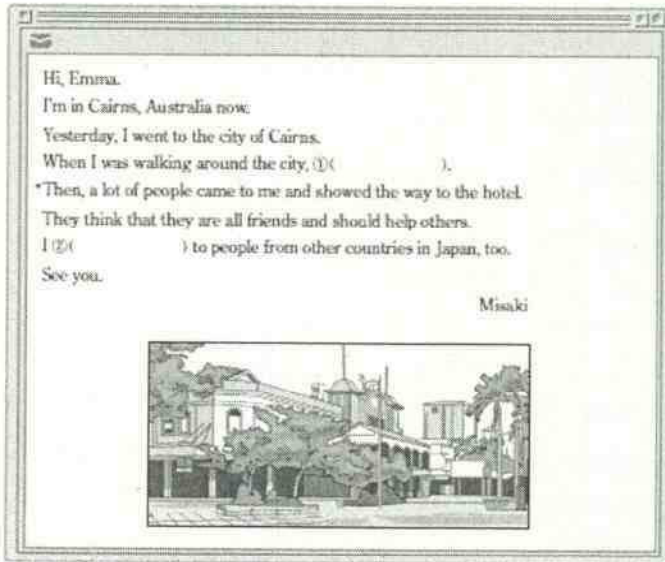
○ 出題のねらい

与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。

【外国語表現の能力/言語や文化についての知識・理解】

問 8

次の英文は、オーストラリアに旅行中のミサキが、日本にいるエマに送ったメールです。日本語の下書きを参考にして、①と②の( )に入るふさわしい表現を3語以上で書き、英文を完成させなさい。



\*then そのとき

<下書き>

- ・ご人にちは、エマ。
- ・私は今、オーストラリアのケアンズにいます。
- ・私は昨日ケアンズの町に行きました。
- ・私が町を歩き回っていたときに、私は迷ってしまいました。
- ・そのとき、たくさんの人たちが私のところに来て、ホテルへの行き方を教えてくださいました。
- ・みんながあなたで、他の人を助けるのがオーストラリアの考え方だそうです。
- ・私も日本では、他の国から来た人たちに親切にするつもりです。
- ・それではまた。

ミサキ

実生活であり得る場面を設定し、生徒が状況を判断し、学習した表現を用いて自由に解答する思考力や判断力を駆使する外国語表現(書くこと)の能力を診断する問題となっている。

①正答率 12% 無答率 42%

正答例 I was lost

I got lost など

誤答例 I' m lost.

②正答率 13% 無答率 29%

正答例 will be kind

want to be kind など

誤答例 will kind of

※日本文の内容に合う適切な表現で、文法や語順の誤りがなく、つづりが正しい場合に正答とし2点、つづりの誤りがある場合は誤答とし、1点減点している。

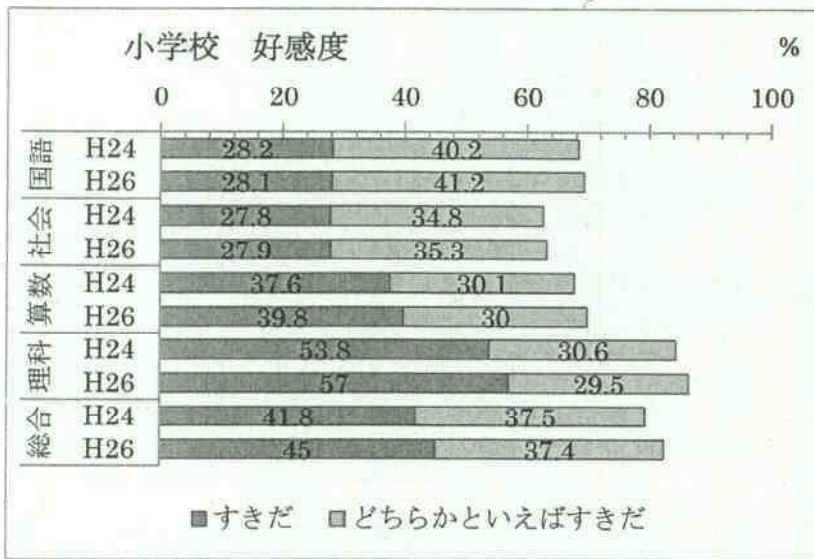
○ 授業改善に向けて

実際の解答をみると意味が伝わる英文にはなっているものの、単語のつづりが不正確であることや文法的な誤りが多いことが原因で、低い正答率となっている。正答とならなかった解答の中にも状況に応じた表現を何とか書いてみようという意欲も感じられ、自分なりに工夫をした解答がみられた。無答率が高くなった原因は、英文の下書きとしての日本語が示されていて、その日本語表現にあったふさわしい英語表現を思いつかなかったためと考えられる。

「書く」能力を高めるためには、まずは日頃から自己表現英作文の時間を確保して、自分もっている知識を総動員し、何とか表現してみようという意欲を育てたい。また、正しく書くことについては、ペアやグループで書いた英文をお互いに比較検討する活動を取り入れると誤りへの気づきを促すことにつながり、改善が期待される。



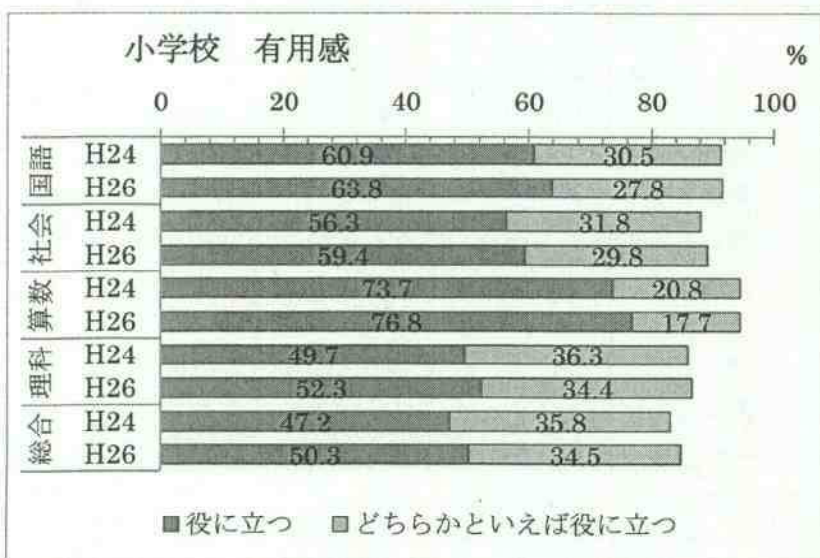
◎ 生活や学習についてのアンケート 授業に対する好感度・理解度・有用感について



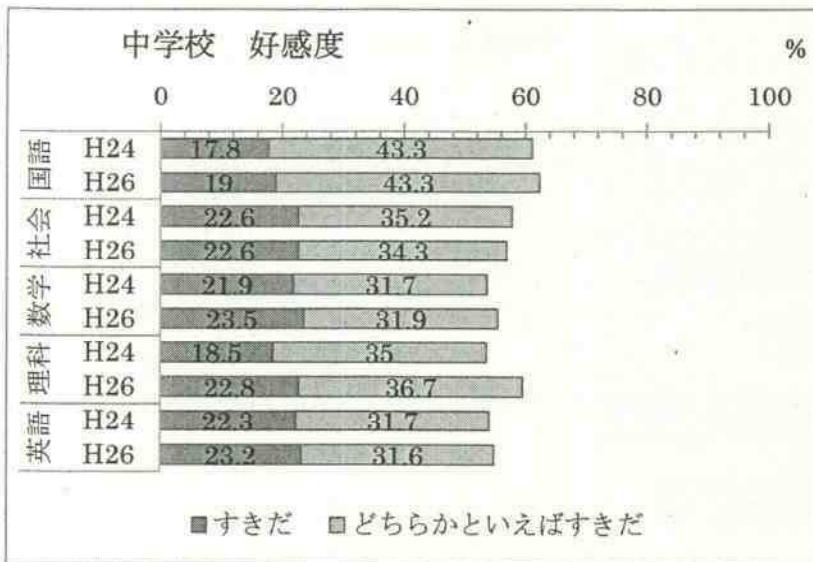
「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童は、国語 69.3%、社会 63.2%、算数 69.8%、理科 86.5%、総合 82.4%である。平成 24 年度と比較すると国語、社会、算数、理科では同程度の結果となっているが、総合で 3.1 ポイントが高くなっている。



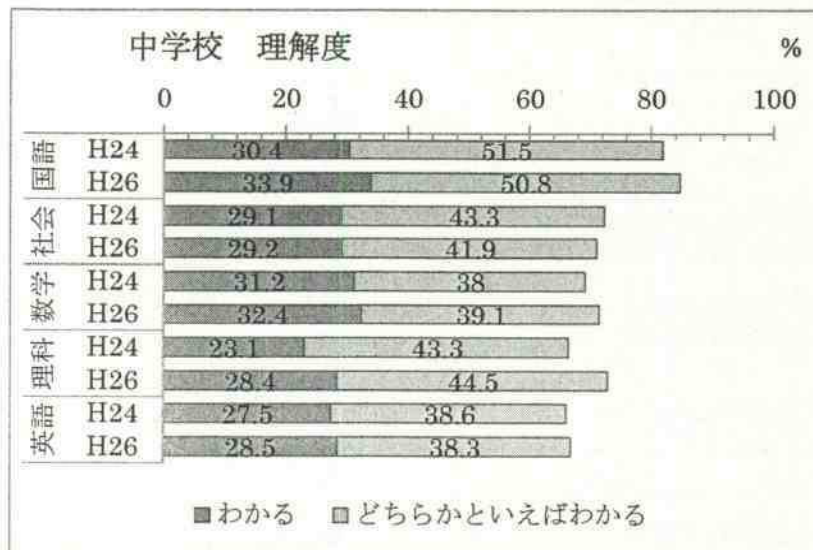
「わかる」「どちらかといえばわかる」と回答した児童は、国語 91.1%、社会 83.4%、算数 85.1%、理科 93.6%である。平成 24 年度と比較するとすべての教科等で同程度の結果となっている。また、自信をもって「わかる」と回答した児童は理科で 3.5 ポイント高くなっており、理科支援員の配置事業を通して実験や観察を大切に授業が進められた成果と考える。



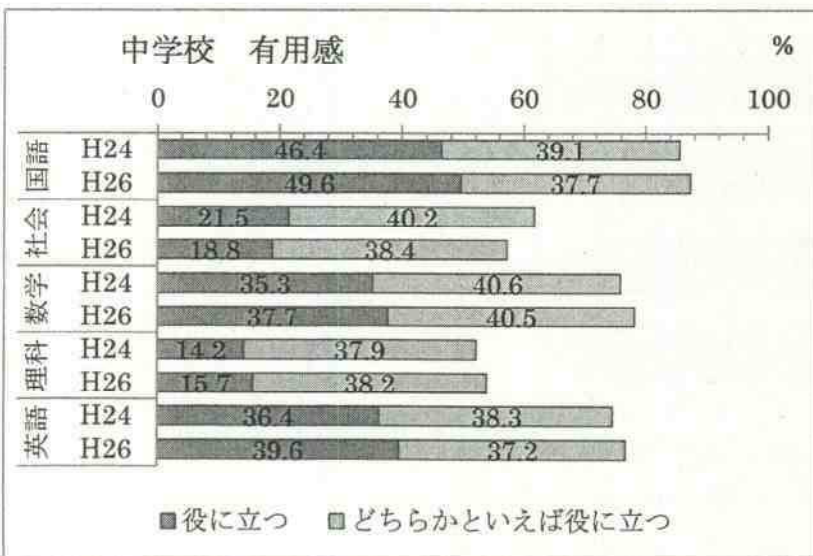
「役に立つ」「どちらかといえば役に立つ」と回答した児童は、国語 91.6%、社会 89.2%、算数 94.5%、理科 86.7%、総合 84.8%である。平成 24 年度と比較するとすべての教科等で同程度の結果となっている。「役に立つ」だけみると、平成 26 年度は 24 年度よりも、社会、算数、総合の 3 教科は 3 ポイント以上高くなっている。



「好き」「どちらかといえば好き」と回答した生徒は、国語 62.3%、社会 56.9%、数学 55.4%、理科 59.5%、英語 54.8%である。平成24年度と比較すると国語、社会、数学、英語は同程度の結果となっている。理科については、6.0ポイント高くなっている。



「わかる」「どちらかといえばわかる」と回答した生徒は、国語 84.7%、社会 71.1%、数学 71.5%、理科 72.9%、英語 66.8%である。平成24年度比較すると、理科については、6.5ポイント高くなっており、観察・実験を行い、その結果を基にして思考力・表現力を育む授業の充実が図られた成果であると考えられる。



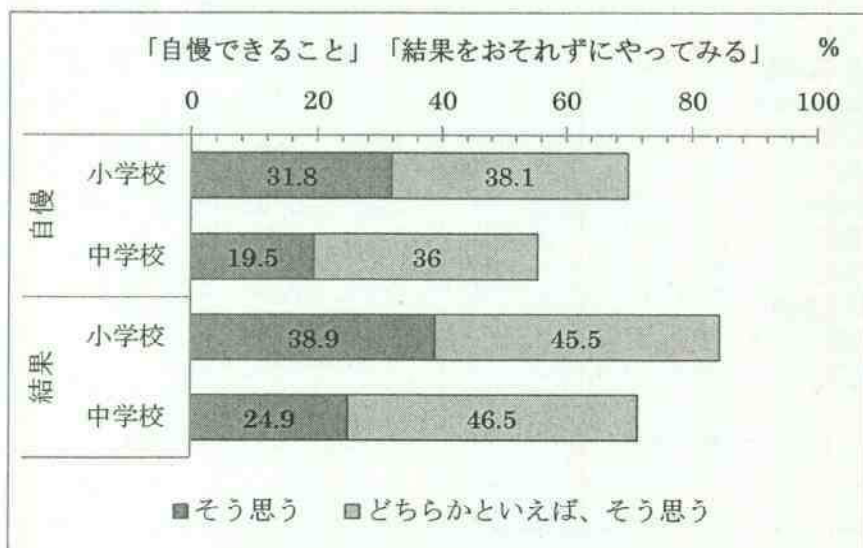
「役に立つ」「どちらかといえば役に立つ」と回答した生徒は、国語 87.3%、社会 57.2%、数学 78.2%、理科 53.9%、英語 76.8%である。平成24年度と比較すると、社会については、4.5ポイント低くなっているが、平成25年度(54.8)と比較すると、2.4ポイント高くなっている。

今後とも小・中学校9年間において、それぞれの教科において、ねらいを明確にしたわかる授業、そして学習したことが自分の生活とのつながりを考える授業づくりを進めていく必要がある。

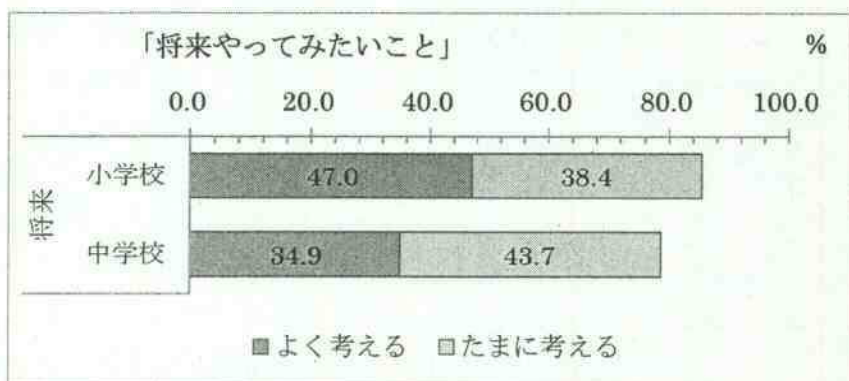


◎ 生活や学習についてのアンケート

自尊意識・将来に関する意識等について



「自慢できることがいくつかあると思いますか」という設問に対して、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した児童生徒は、小学校では、69.9%、中学校では、55.5%である。また、「結果をおそれずにやってみてみたいと思いますか」という設問に対して、小学校では、84.4%、中学校では、71.4%である。



「将来やってみたいことについて考えることがありますか」という設問に対して、「よく考える」、「たまに考える」と回答した児童生徒は、小学校では、85.4%、中学校では、78.6%である。



「自分の住んでいる町がすきですか」という設問に対して、「とてもすき」、「どちらかといえばすき」と回答した児童生徒は、小学校では、93.3%、中学校では、86.5%である。また、「友達と協力して活動することは好きですか」という設問に対して、小学校では、90.7%、中学校では、86.8%である。

学校では、ものごとを最後までやり遂げ、友達や教師から評価され、自分のよさを感じられる体験や将来の夢や目標を考える学習をそれぞれの発達段階に応じて積み重ねていくことが大切である。これらの数値については、経年での変化を見ていく必要がある。





# 学力調査・授業改善研究事業

第2次川崎市教育振興基本計画  
かわさき教育プラン 第1期実施計画

- ★川崎市立小中学校学習状況調査の結果は、保護者・児童生徒にわかりやすい個票で、学習状況を伝えるとともに、報告会・報告書・実践事例集を通して、具体的な授業改善のポイントを提案します。
- ★全国学力・学習状況調査の結果と合わせて分析することで、全国的な成果と課題を踏まえ、本市の成果と課題を的確に把握します。それぞれの調査を補完的に活用し、学力把握と学力向上の取組を進めます。

## ○全国学力・学習状況調査

### 4月 調査実施・解説資料配付



小学校6年  
中学校3年  
国語、算数・数学  
児童生徒質問紙調査

調査問題について、出題の趣旨、解説、解答類型等が記述されています。

### 8月～10月 個人票・報告書の配付

家庭への啓発と協力  
自校の状況の把握  
結果の分析  
授業改善の検討



調査結果の概要、課題・指導改善のポイントが記述されています。

### 10月 報告会

全市の状況を把握  
授業改善の実践



全市の状況の報告と授業改善に向けて調査官の説明等が行われます。

様々な方向から課題の解決に取り組めるよう、3つのタイプの事例が紹介されています。

- TYPE I 児童生徒のつまずきの状況を把握し、解決を図る事例
- TYPE II 短時間で知識・技能の定着を図る事例
- TYPE III 知識・技能の習得を図る事例

## ○川崎市立小学校学習状況調査

## ○川崎立中学校学習診断テスト

### 5月 調査実施

小学校 5年  
国語、算数  
学習意識調査



出題のねらいや正答率、誤答分析、指導の改善点が記述されています。

### 7月 個人票の配付

自校の状況の把握  
家庭への啓発と協力

### 9月 報告会・報告書の配付

全市の学習状況を把握  
結果の分析  
授業改善の検討

### 11月 テスト実施

中学校 1～3年  
国語、社会、数学  
理科、英語  
学習意識調査 2年

正答、主な誤答、授業改善への手立てや意識調査の結果が記述されています。

### 12月 個人票の配付

家庭への啓発と協力  
自校の状況の把握

### 2月 報告書の配付

状況の把握、分析  
授業改善の検討



授業改善に向けて、各教科等の実践事例が記述されています。



# 川崎市学習状況調査

わかりやすい個票を保護者・児童生徒に提供

児童生徒・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、学習に取り組む態度や家庭学習の改善に役立てます。

## 学校・研究会と連携して授業改善を具体的に提案

### 小・中学校 川崎らしさを生かした教育課程編成のための資料Ⅳ

#### 「生きる力」の育成をめざした教育課程の創造

教育課程研究においては、総則研究を通し、創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成や学習活動を、「授業づくり」「学校づくり」の視点から研究を進めてきました。今年度は5つの視点からそれぞれの学校の特色ある教育活動の事例を掲載しています。

- 1 学校の教育力を高めるための体制づくり
- 2 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動の重視について
- 3 自らの生き方を考える進路指導の充実
- 4 音楽のまち・かわさきを活かした魅力ある音楽教育の推進
- ⑤ 各種調査を生かした授業づくり



新しいプロット  
学習調査の結果を生かした小学校・中学校の分析と実践を紹介



すべての教科等ごと 実践を紹介

小学校

#### 「生きる力」をなくくむ学習指導と評価の工夫改善Ⅳ

中学校

#### 「生きる力」をなくくむ学習指導と評価の工夫改善Ⅲ

本冊子は、各研究会のご協力を得て、学習指導要領の趣旨の実現に向けた学習指導と評価の工夫改善を図るための具体的な手立て等、授業実践・授業改善に活用できる資料集として作成しています。各教科等で伝えたいことが満載です。ぜひ手元において、授業づくりのヒントにいただけたらと思います。

編集にあたって大切にしている視点

- 1 言語活動の充実
  - ① それぞれの教科等の知識・技能を活用する学習活動
  - ② コミュニケーションや感性・情緒の基盤
- 2 指導と評価の工夫改善
  - ② 指導と評価の一体化
  - ② 学習評価の妥当性、信頼性
  - ③ 学校全体としての取組